



モレックス、Automotive Ethernet Congress で 次世代の車載通信ネットワークを紹介

コネクテッドカーおよび自動運転向け車載イーサネットの機能にハイライトを当てた
プレゼンテーションとライブデモンストレーションを開催

米国イリノイ州ライル - 2020年2月4日 - モレックス LLC は、2020年2月12日と13日にドイツのミュンヘンで開催される第6回 Automotive Ethernet Congress (AEC) で、コネクテッドカーおよび自動運転に向けた次世代のイーサネット機能を紹介します。モレックスは、車載通信を統合することの影響、およびコネクテッドカーおよび自動運転向けの適応型アプリケーションの要件について説明します。



モレックスのリードシステムアーキテクトであるマイケル・ポッツは、次のように述べています。「自動車産業は、大きな変化にさらされており、適応型アプリケーションなどの車載通信の要件を満たすことが課題となっています。モレックスの車載イーサネットネットワークソリューションは、未来のソフトウェア・デファインド・ビークルにおける適応型ソフトウェアおよび適応型アプリケーションをサポートします。」

マイケル・ポッツは、IEEE 802 TSN、セキュリティ、および IEEE 802.3 タスクグループを含む Ethernet Alliance のリーダーとして、車載イーサネット向け IEEE 802.1DG TSN Profile のドラフト標準の最初の開発者であり、重要な推進者です。AEC では、Meshing of the Networks というタイトルのプレゼンテーションを行います。このプレゼンテーションでは、車載通信ネットワークと次世代の適応型アプリケーションの設計および開発を融合させることの影響を調査しています。

マイケル・ポッツは、次のように付け加えています。「将来的には、ソフトウェア・デファインド・ビークルの車載通信ネットワークは、現在の車両の機能要件と、データ量の増加に対応する適応型アプリケーションの統合が必要となります。適応型アプリケーションは、より正確で確定的な信号伝達、およびエンドツーエンドのゼロレイテンシが求められます。」

モレックスは、次世代車載イーサネットのプラットフォームを開発し、ハードウェア、ソフトウェア、および相互接続ケーブルシステム全体のシームレスなマルチゾーン統合と、将来のアップグレードに必要なスケーラビリティを備えた、完全な自動車エコシステムを提供します。

モレックスオートモーティブイーサネットネットワークプラットフォームの詳細については、<https://experience.molex.com/electronic-solutions/automotive-ethernet-congress/> をご覧ください。

モレックスについて

モレックスは世界中のお客様に電子ソリューションを提供するため、日々技術革新に取り組んでいる。モレックスは世界 40 カ国以上で事業を展開し、データ通信、家電、自動車、インダストリアル、医療など数多くの市場に、各種接続システムをはじめとした最適な電子ソリューションとサービスを提供している。

www.japanese.molex.com

モレックスの各種サイトについて(英語)

- ホームページ: www.molex.com
- Twitter: www.twitter.com/molexconnectors
- YouTube: www.youtube.com/molexconnectors
- Facebook: www.facebook.com/molexconnectors
- ブログ記事: www.connector.com

###

Molex は、Molex, LLC の登録商標です。